

町長のごあいさつ

紀美野町は、平成18年1月1日に旧野上町と旧美里町が合併し、新しく誕生した町です。和歌山県の北部に位置し、霊峰高野山を源にもつ清流貴志川が町の中央を流れ、南部には町のシンボルである長峰山系の県立自然公園「生石高原」がそびえる自然環境に恵まれた町です。

本町は、世界遺産である霊場高野山と歴史的につながりが深く、町内には数多くの名所旧跡が存在します。また、秋のススキが有名な生石高原をはじめ、満天の星空が観られる「みさと天文台」、パークゴルフが楽しめる「ふれあい公園」などの観光施設や宿泊施設も充実しております。

本町では、長期総合計画に「住民活力でつくるまちづくり」をスローガンに、「空・山・川のふれあいのある美しいふるさと」を町の将来像に掲げ、豊かな自然環境の中で、町内外の多様な人々が出会い、ふれあい、共に支え合い、いきいきと活力にあふれる「美しいふるさと」をめざし、町民の皆様と一体となってまちづくりを進めています。

この度、紀美野町誕生10周年を記念して町勢要覧を刊行いたしました。紀美野町の魅力を一人でも多くの方々に知っていただく一助となり、また、今後のまちづくりに皆様の一層のお力添えをいただければ幸いに存じます。



紀美野町長 寺本 光嘉



紀美野町役場 本庁舎



役場窓口



役場 1階フロア



紀美野町役場 美里支所

人口・世帯数		
総人口	9,599人	男 4,456人 女 5,143人
世帯数	4,432世帯	(平成27年12月31日現在)



町の木「カヤ」

当町では、県下の中でもカヤの植栽密度が一番多い地域であり、大きな木も多く見られます。また、カヤの油は凝固点が低く冬の灯明用には欠かせないものとして、江戸時代には高野山へ年貢として納められていました。



町の花「さくら」

町内にはいろいろな品種のさくらが見られ、学校、寺院仏閣、公共施設に植栽され、町民に愛され親しまれ、歴史的にも深いかわりを持っています。



町の鳥「セグロセキレイ」

人里の鳥で、町内全域で見ることができ、水辺や田の周辺で人の近くにいる益鳥として保護されてきました。尾羽を上下にふるることから、「しりふり」「おをふり」として親しまれています。

(平成19年11月1日制定)



町章

フレッシュ感あふれるブルーと、若葉をイメージしたグリーンは、紀美野町の美しい空と川、そして山の木々の緑を象徴しています。円を基調とした滑らかなシルエットは、住民の調和による優しいふるさとの姿をイメージするとともに、未来へ向けた発展と飛躍への期待が込められています。

(平成18年1月1日制定)



イメージキャラクター きみちよん

山をイメージし、下には川が流れ、頭には生石高原のススキをイメージした毛が3本生えています。手に持っている天文台の星をイメージした「星ステッキ」で「ちよんちゃん」としてもらうことで、その人はとても幸せになれる。

(平成24年11月誕生)